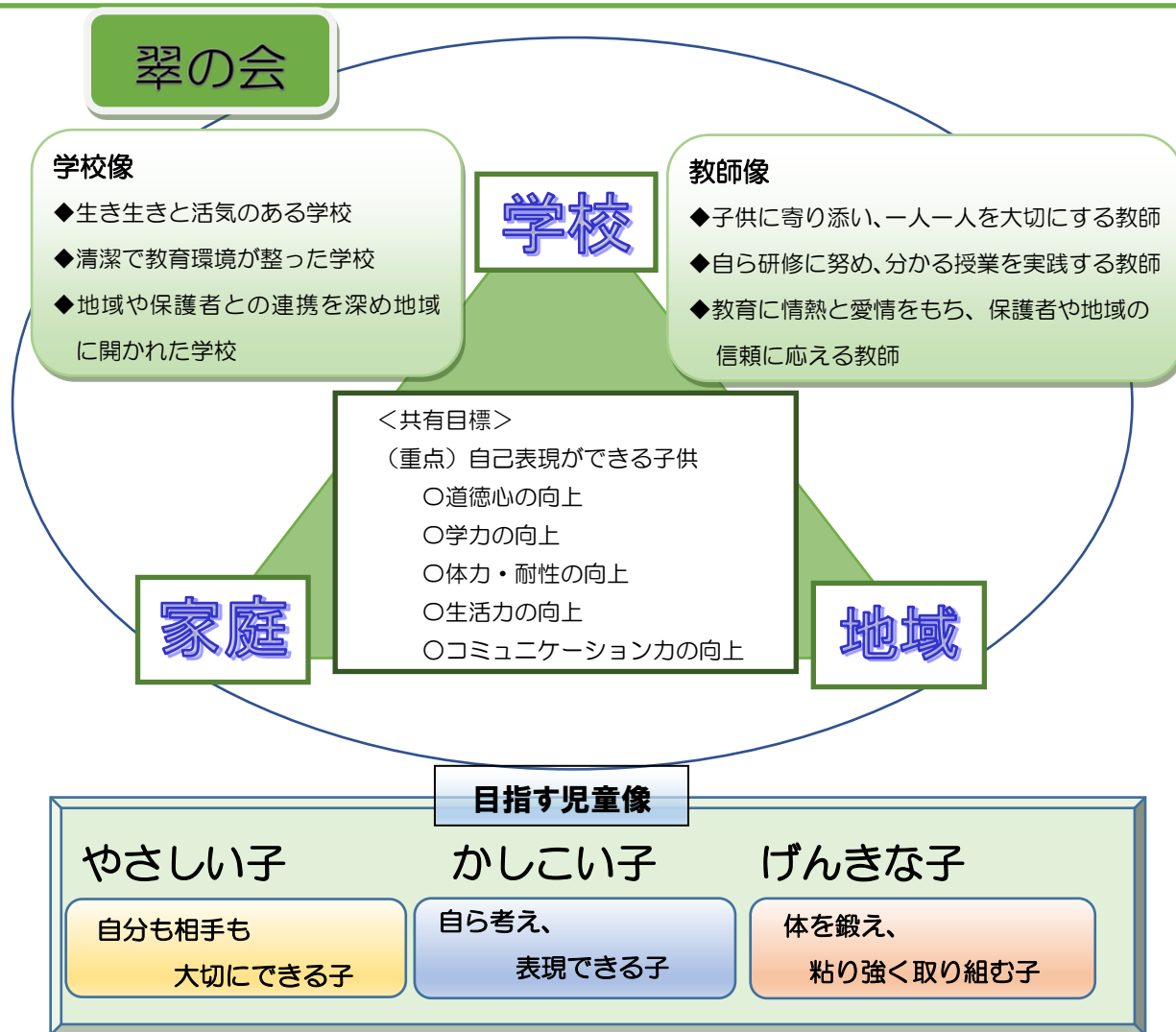


子ども一人一人が深い自己理解に基づき、「何をしたいのか」、「何をすべきか」、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択・設定して、この目標の達成のため、自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力である「自己指導能力」の獲得を目指し、教育活動の充実を図ります。

学校教育目標 自己指導能力を身に付けた霞翠っ子の育成



共通理解事項

【継承と変革】

- ・霞翠小の強み・良さを最大限に生かす。現状維持は後退につながる。常に改善の手立てをとる。

【結果にこだわる】

- ・子供の姿で成長を示す。「目標・目的の明確化・具体化」「伸ばす」「鍛える」「褒める」「認める」「励ます」

【ベースは子供理解】

- ・子供と向き合う、寄り添う指導。職員間の情報共有と共通実践。

【第五版を拠り所とする】

- ・授業改善＝学力向上。全職員が更に授業力を向上させる。

【コミュニティ・スクール】

- ・地域・家庭との連携・協働。共有目標の具現化。積極的なコミュニケーション。